



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社グローバルウェイ 上場取引所 東
コード番号 3936 URL https://www.globalway.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 小山 義一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 新井 晋之 TEL 03(5441)7193
定時株主総会開催予定日 2024年6月20日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2024年6月20日
決算補足説明資料作成の有無: 有
決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|-------|------|------|---|------|---|---------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 2,456 | 40.5 | △380 | - | △335 | - | △199 | - |
| 2023年3月期 | 1,748 | △3.8 | △458 | - | △449 | - | △218 | - |

(注) 包括利益 2024年3月期 △346百万円 (-%) 2023年3月期 △437百万円 (-%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年3月期 | △5.47 | - | △18.5 | △18.4 | △15.5 |
| 2023年3月期 | △6.01 | - | △19.3 | △26.0 | △26.2 |

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 △3百万円 2023年3月期 6百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 1,948 | 1,481 | 53.4 | 28.59 |
| 2023年3月期 | 1,705 | 1,327 | 65.4 | 30.65 |

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,041百万円 2023年3月期 1,115百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年3月期 | △505 | 53 | 488 | 985 |
| 2023年3月期 | △635 | △210 | 476 | 946 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年3月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 | - | - | - |
| 2024年3月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 | - | - | - |
| 2025年3月期(予想) | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 | - | - | - |

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,010 | 22.6 | △93 | - | △42 | - | 57 | - | 1.58 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：有
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P11「連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 2024年3月期 | 36,416,650株 | 2023年3月期 | 36,403,200株 |
| 2024年3月期 | 4,260株 | 2023年3月期 | 4,260株 |
| 2024年3月期 | 36,399,658株 | 2023年3月期 | 36,398,880株 |

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|------|------|---|------|---|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 2,196 | 30.9 | △94 | - | △70 | - | △111 | - |
| 2023年3月期 | 1,678 | △3.8 | △81 | - | △71 | - | △71 | - |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | △3.06 | - |
| 2023年3月期 | △1.96 | - |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-----|------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | | |
| 2024年3月期 | 1,211 | 867 | 71.6 | 23.80 | | |
| 2023年3月期 | 1,229 | 978 | 79.6 | 26.87 | | |

(参考) 自己資本 2024年3月期 866百万円 2023年3月期 978百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については添付資料「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

決算説明資料は2024年5月15日(水)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| (5) 継続企業の前提に関する重要事象等 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益及び包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (会計方針の変更) | 11 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 14 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループを取り巻く環境は、将来にわたる競争力の強化を目的として、クラウドやビッグデータの活用とIoT・AIなどの新技術を活用した事業のデジタル化関連のシステム投資は堅調に推移しており、2030年度のデジタルトランスフォーメーション(DX)国内市場(投資金額)は約6.5兆円となることが予測され(富士キメラ総研)、一方で、企業がDXを進める上での課題として「人材不足」や「知識不足」が合わせて67.6%となっております(総務省)。企業の採用ニーズは回復傾向にあり、また、働き方改革の進展やオンラインを通じた副業を含むシェアリングビジネスへの需要は引き続き拡大傾向となっております。

このような環境の中、当社は「人」と「技術」を新しい時代のために」を経営理念とし、「人々や企業から最も信頼される存在を目指して」をビジョンとして、人々の幸せや企業の成長をあらゆる技術の追求により最大限実現し、新しい時代において、最も信頼される存在を目指しております。

当連結会計年度において、当社グループは、引き続き、プラットフォーム事業及びセールスフォース事業では、クライアントの積極的なシステム投資やDX化を支援すると同時に、エンジニアの採用や育成によるケイパビリティ拡大に取り組み、メディア事業では、送客数の増加や送客先の新規開拓、人材紹介会社などに対する支援の拡大に取り組み、リクルーティング事業では、キャリアコンサルタントの採用や求人企業・転職希望者の両面に対するコンサルティングサービスの強化に取り組みました。

シェアリング事業を行う株式会社タイムチケットは、個人が個人に対してスキルを販売するマッチングプラットフォームを展開するスキルシェア事業、法人と個人間で個人の時間を販売できるサービスを展開する法人向けスキルシェア事業、経営課題の解決を支援するコンサルティング事業を行っております。2023年10月に、TikTok代理店活動などを行うライブエンターテイメント事業、2022年7月に調達した資金の一部を基にした中期的な株式投資を行う投資事業をそれぞれ開始するなど、新たな収益源の構築に取り組みました。

2023年8月に株式会社タイムチケットは、主にユーザー数増加を目的としたシステム開発や広告宣伝費に充当するため第三者割当増資にて500,025千円を調達し、当社の持分比率は39.7%から29.0%となっております。また、2024年3月に同社とは今後の経営資源の集中と選択を検討した結果、TimeTicket GmbHを解散することを決議しております。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は2,456,194千円(前期比40.5%増)、営業損失は380,497千円(前期は営業損失458,509千円)、経常損失は335,701千円(前期は経常損失449,626千円)、親会社株主に帰属する当期純損失は199,141千円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失218,940千円)となりました。なお、直近の業績動向を踏まえ、当社の保有する固定資産(建物附属設備等)について減損損失を特別損失として計上しております。

当社グループのセグメントの業績は次のとおりであります。

① プラットフォーム事業

プラットフォーム事業では、法人向けに、各企業が保有する基幹業務システムを活かしつつ最適なクラウドソリューションを組み合わせて、新たなデジタルプラットフォーム(ELT、API、CI/CD、IOT、BI/BA)を構築し「プラットフォーム構築支援サービス」「運用サポートサービス」として提供しております。

クライアントのDX推進を支援する取り組みが受注に繋がり、同時にエンジニアの採用や育成によるケイパビリティ拡大に取り組んでおります。

当連結会計年度においては、ケイパビリティの確保が堅調に進展し、クライアントのDX推進による案件増加をこなし、順調に推移しました。

以上の結果、プラットフォーム事業の売上高は1,040,001千円(前期比81.5%増)、セグメント利益は195,640千円(前期比61.7%増)となりました。

② セールスフォース事業

セールスフォース事業では、Salesforce.com社が提供するソリューション(Sales、Service、App Cloudの他、B2BCommerce、業種別クラウドなど)を用いて、主に顧客接点強化を目的として情報を一元管理し業務効率化を図るなどのサービスを提供することで各企業が抱える課題の解決を支援しております。製品の標準機能と開発をバランス良く組み合わせつつ、要件定義から設計、開発、運用・保守、定着化支援まで一貫して支援しております。

このような取り組みを通じ、パートナー契約および販売代理店契約による提案機会が向上し受注増加に繋がっており、同様にエンジニアの採用や育成によるケイパビリティ拡大やデリバリー体制の再構築に取り組んでおります。

当連結会計年度においては、前期に発生した一部の案件の不具合対応は収束したことから案件を堅調にこなしましたが、プロジェクトの収支管理に課題が残りました。

以上の結果、セールスフォース事業の売上高は423,847千円(前期比9.2%増)、セグメント利益は29,038千円(前期比4.4%増)となりました。

③ メディア事業

メディア事業は、企業の口コミ情報（企業の年収・評判・面接）、口コミ情報等を基にしたニュース記事（企業ニュース）、求人情報（転職・求人）等を取扱う働く人のための情報プラットフォーム「キャリコネ」を通じてワークプレイス・メディアサービスを運営し、また、人材紹介会社に対してソリューションを提供しております。

当連結会計年度においては、継続的に、送客数の増加や送客先の新規開拓、人材紹介会社などに対する支援の拡大に取り組みました。また、コストコントロールを徹底し、利益率を改善しました。

以上の結果、メディア事業の売上高は422,076千円（前期比24.7%増）、セグメント利益は133,011千円（前期比129.9%増）となりました。

④ リクルーティング事業

リクルーティング事業は、主にハイクラス人材をターゲットとし、外資系企業、コンサルティングファーム、IT業界を中心として、求人企業及び求職者の直接依頼に基づく有料職業紹介サービスを行っております。

クライアントのDX推進に伴いDX人材の採用ニーズも増加しており、当社は求人企業と転職希望者の両面へのコンサルティング力の向上を図っております。

当連結会計年度においては、DX人材をはじめとしたハイクラス人材の紹介件数は一定数をこなしたものの主要クライアントの採用縮小などにより計画を下回り、また、キャリアコンサルタントの採用は進むも案件成約には一定期間かかることから人件費の回収には至らず、課題が残りました。

以上の結果、リクルーティング事業の売上高は314,938千円（前期比19.1%減）、セグメント利益は2,447千円（前期比97.9%減）となりました。

⑤ シェアリング事業

グループ会社である株式会社タイムチケットがシェアリング事業として、「TimeTicket(タイムチケット)」、「TimeTicket Pro(タイムチケットプロ)」、「TikTok Live代理店」を運営しております。また、経営課題の解決を行うコンサルティングサービス「CRiPTコンサルティング」を提供しております。

当連結会計年度においては、ユーザー数増加及びサービス利用の活性化、システム改修の推進と合わせて、新たな収益源として「TikTok Live代理店」や「CRiPTコンサルティング」の立ち上げに注力いたしました。同時に、経営資源の集中と選択を検討した結果、2024年3月18日にTimeTicket GmbHの解散を決議いたしました。

以上の結果、シェアリング事業の売上高は322,608千円（前期比114.4%増）、セグメント損失は267,834千円（前期はセグメント損失338,404千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当連結会計年度末における資産の合計は、前連結会計年度末に比べ242,520千円増加し、1,948,345千円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産の増加が266,432千円あった一方、建物附属設備の減少が30,355千円あったことなどによるものであります。

当連結会計年度末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ88,451千円増加し、467,101千円となりました。これは主に、未払費用の増加が59,949千円、未払消費税等の増加が34,309千円あった一方、長期借入金の減少が26,105千円あったことなどによるものであります。

当連結会計年度末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ154,069千円増加し、1,481,244千円となりました。これは主に、資本剰余金の増加が116,580千円、非支配株主持分の増加が228,001千円あった一方、利益剰余金の減少が199,141千円あったことなどによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、985,766千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、505,912千円の使用(前期は635,781千円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失が377,094千円、売上債権及び契約資産の増加が266,432千円、未払又は未収消費税等の増加が48,381千円、未払費用の増加が63,527千円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、53,059千円の獲得(前期は210,970千円の獲得)となりました。これは、主に投資有価証券の取得による支出が1,550,779千円あった一方、投資有価証券の売却による収入が1,613,484千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、488,704千円の獲得(前期は476,434千円の獲得)となりました。これは、主に非支配株主からの払込みによる収入が500,025千円あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く環境は、技術領域においては、引き続きクライアントのDX推進に向けたシステム投資が見込まれる一方でDXを推進する企業の多くがそれを担う人材不足や知識不足を課題としており、人材領域においては、コロナ禍の影響で一時的落ち込んだ人材紹介市場は回復傾向にあります。

そのような環境の中、プラットフォーム事業及びセールスフォース事業ではクライアントのDX推進を支援するとともにエンジニアの採用及び育成によるケイパビリティ拡大、デリバリー体制の整備に取り組み、メディア事業においては掲載企業数や企業研究レポートの増加を通じた媒体力の強化と同時に販売推進体制の整備に取り組み、リクルーティング事業においてはコンサルタントの採用を進め採用企業と転職希望者の両面へのコンサルティング力の強化に取り組んでおります。子会社で展開しているシェアリング事業においては、新たな収益源として、既存事業と連動するTikTok Live代理店や経営コンサルティングなどの立ち上げに取り組んでおります。

これらの結果、2025年3月期における連結業績予測は、売上高3,010百万円、営業損失93百万円、経常損失42百万円、親会社株主に帰属する当期純利益57百万円としております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当連結会計年度において2期連続して営業損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。このような状況のもと、当社グループでは、当該状況を解消するため、管理会計の浸透、事業の収益改善に取り組んでおります。加えて、当社においては金融機関と当座貸越契約を締結しており、子会社である株式会社タイムチケットでは第三者割当増資を行い資金調達を実施しております。そのため、当面の運転資金において資金繰りに懸念はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 946,954 | 917,487 |
| 売掛金及び契約資産 | 369,766 | 636,198 |
| 仕掛品 | 7,719 | - |
| 前払費用 | 78,612 | 77,350 |
| その他 | 30,993 | 91,634 |
| 流動資産合計 | 1,434,045 | 1,722,670 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物附属設備 | 33,051 | 42,506 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △2,696 | △42,506 |
| 建物附属設備(純額) | 30,355 | - |
| 工具、器具及び備品 | 43,723 | 41,276 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △29,090 | △41,276 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 14,633 | - |
| 有形固定資産合計 | 44,988 | - |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 0 | - |
| ソフトウェア | 0 | - |
| 無形固定資産合計 | 0 | - |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 185,953 | 174,880 |
| 関係会社株式 | 3,304 | - |
| 長期前払費用 | 5,075 | 529 |
| その他 | 32,457 | 50,264 |
| 投資その他の資産合計 | 226,791 | 225,674 |
| 固定資産合計 | 271,779 | 225,674 |
| 資産合計 | 1,705,825 | 1,948,345 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 94,545 | 88,202 |
| 短期借入金 | - | 30,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 30,569 | 14,456 |
| 未払費用 | 52,920 | 112,869 |
| 未払法人税等 | 25,896 | 2,292 |
| 未払消費税等 | - | 34,309 |
| 前受金 | 31,540 | 31,903 |
| 賞与引当金 | 14,670 | 5,298 |
| その他 | 95,270 | 140,348 |
| 流動負債合計 | 345,413 | 459,679 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 32,745 | 6,640 |
| 繰延税金負債 | - | 781 |
| その他 | 491 | - |
| 固定負債合計 | 33,236 | 7,421 |
| 負債合計 | 378,649 | 467,101 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 50,041 | 50,206 |
| 資本剰余金 | 1,379,635 | 1,496,215 |
| 利益剰余金 | △317,509 | △516,651 |
| 自己株式 | △525 | △525 |
| 株主資本合計 | 1,111,641 | 1,029,244 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △5,336 | 448 |
| 為替換算調整勘定 | 9,411 | 11,522 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,074 | 11,970 |
| 新株予約権 | 1 | 568 |
| 非支配株主持分 | 211,458 | 439,460 |
| 純資産合計 | 1,327,175 | 1,481,244 |
| 負債純資産合計 | 1,705,825 | 1,948,345 |

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 1,748,671 | 2,456,194 |
| 売上原価 | 966,518 | 1,220,779 |
| 売上総利益 | 782,152 | 1,235,415 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,240,661 | 1,615,912 |
| 営業損失(△) | △458,509 | △380,497 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13 | 50 |
| 受取配当金 | 2,895 | 1,854 |
| 売買有価証券運用益 | - | 15,324 |
| 投資有価証券売却益 | - | 35,862 |
| 暗号資産評価益 | - | 1,685 |
| 暗号資産売却益 | 1,095 | - |
| 持分法による投資利益 | 6,307 | - |
| その他 | 3,913 | 7,884 |
| 営業外収益合計 | 14,226 | 62,661 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 400 | 278 |
| 為替差損 | 4,850 | 13,168 |
| 暗号資産評価損 | 51 | - |
| 持分法による投資損失 | - | 3,663 |
| その他 | 39 | 755 |
| 営業外費用合計 | 5,342 | 17,866 |
| 経常損失(△) | △449,626 | △335,701 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 850 | 0 |
| 事業譲渡益 | 13,462 | - |
| 特別利益合計 | 14,312 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | - | 41,392 |
| 固定資産除却損 | 0 | - |
| 特別損失合計 | 0 | 41,392 |
| 税金等調整前当期純損失(△) | △435,313 | △377,094 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,026 | △2,717 |
| 法人税等合計 | 1,026 | △2,717 |
| 当期純損失(△) | △436,340 | △374,376 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | △218,940 | △199,141 |
| 非支配株主に帰属する当期純損失(△) | △217,399 | △175,234 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △13,442 | 14,988 |
| 為替換算調整勘定 | 12,046 | 12,176 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 175 | 358 |
| その他の包括利益合計 | △1,219 | 27,523 |
| 包括利益 | △437,560 | △346,853 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △220,013 | △191,679 |
| 非支配株主に係る包括利益 | △217,547 | △155,173 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|--------|-----------|----------|------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 50,020 | 1,197,239 | △98,569 | △525 | 1,148,164 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) | | | △218,940 | | △218,940 |
| 新株の発行(新株予約 権の行使) | 20 | 20 | | | 41 |
| 連結子会社の増資による 持分の増減 | | 182,375 | | | 182,375 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | 20 | 182,396 | △218,940 | - | △36,523 |
| 当期末残高 | 50,041 | 1,379,635 | △317,509 | △525 | 1,111,641 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|----------|-------------------|-------|---------|-----------|
| | その他有価証券評 価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益 累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | - | 5,146 | 5,146 | 851 | 108,311 | 1,262,474 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) | | | | | | △218,940 |
| 新株の発行(新株予約 権の行使) | | | | | | 41 |
| 連結子会社の増資による 持分の増減 | | | | | | 182,375 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | △5,336 | 4,264 | △1,072 | △850 | 103,146 | 101,224 |
| 当期変動額合計 | △5,336 | 4,264 | △1,072 | △850 | 103,146 | 64,700 |
| 当期末残高 | △5,336 | 9,411 | 4,074 | 1 | 211,458 | 1,327,175 |

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|--------|-----------|----------|------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 50,041 | 1,379,635 | △317,509 | △525 | 1,111,641 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) | | | △199,141 | | △199,141 |
| 新株の発行(新株予約 権の行使) | 164 | 164 | | | 329 |
| 連結子会社の増資による 持分の増減 | | 116,415 | | | 116,415 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | 164 | 116,580 | △199,141 | - | △82,396 |
| 当期末残高 | 50,206 | 1,496,215 | △516,651 | △525 | 1,029,244 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|----------|-------------------|-------|---------|-----------|
| | その他有価証券評 価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益 累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | △5,336 | 9,411 | 4,074 | 1 | 211,458 | 1,327,175 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) | | | | | | △199,141 |
| 新株の発行(新株予約 権の行使) | | | | | | 329 |
| 連結子会社の増資による 持分の増減 | | | | | | 116,415 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 5,784 | 2,111 | 7,896 | 567 | 228,001 | 236,465 |
| 当期変動額合計 | 5,784 | 2,111 | 7,896 | 567 | 228,001 | 154,069 |
| 当期末残高 | 448 | 11,522 | 11,970 | 568 | 439,460 | 1,481,244 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純損失(△) | △435,313 | △377,094 |
| 減損損失 | - | 41,392 |
| 減価償却費 | 9,231 | 9,435 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 1,245 | △9,372 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,908 | △1,904 |
| 支払利息 | 400 | 278 |
| 為替差損益(△は益) | 4,850 | 13,168 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △6,307 | 3,663 |
| 新株予約権戻入益 | △850 | △0 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | - | △35,862 |
| 売買有価証券運用損益(△は益) | - | △15,324 |
| 暗号資産売却損益(△は益) | △1,095 | - |
| 暗号資産評価損益(△は益) | 51 | △1,685 |
| 売上債権及び契約資産の増減額(△は増加) | △73,799 | △266,432 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △7,719 | 7,719 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 45,077 | △6,343 |
| 前払費用の増減額(△は増加) | △30,513 | 5,934 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 6,440 | 27,937 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | △84,408 | 48,381 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △58,426 | 63,527 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △1,238 | 362 |
| その他 | 724 | 6,943 |
| 小計 | △634,559 | △485,273 |
| 利息及び配当金の受取額 | 13 | 3,455 |
| 利息の支払額 | △400 | △276 |
| 法人税等の支払額 | △834 | △23,818 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △635,781 | △505,912 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | - | △10,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △52,710 | △14,969 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △199,395 | △1,550,779 |
| 投資有価証券の売却による収入 | - | 1,613,484 |
| 信用取引決済による収入 | - | 15,324 |
| 暗号資産の純増減額(△は増加) | 36,935 | - |
| その他 | 4,200 | - |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △210,970 | 53,059 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | - | 30,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △26,676 | △42,218 |
| 株式の発行による収入 | 41 | 329 |
| 新株予約権の発行による収入 | - | 567 |
| 非支配株主からの払込みによる収入 | 503,069 | 500,025 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 476,434 | 488,704 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 8,565 | 2,959 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △361,751 | 38,811 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,308,706 | 946,954 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 946,954 | 985,766 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲の変更)

従来、証券会社預け金は資金の範囲に含めておりませんでした。当連結会計年度より、資金の範囲に含めることとしました。

これは、連結子会社で行っている有価証券投資が当連結会計年度より活発に行われるようになり、証券会社預け金が資金として運用している実態があることから資金の範囲に含めることで、より適切にキャッシュ・フローの状況を表示できると判断したことによるものです。そのため、前連結会計年度については遡及適用を行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業部門ごとに取り扱う商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「プラットフォーム事業」は、プラットフォーム構築に関わるシステム・ソリューション開発やプラットフォームのマネージド・サービスを提供しております。「セールスフォース事業」は、顧客接点の強化目的に、Salesforceソリューションを活用して支援しております。「メディア事業」は、働く人のための情報プラットフォーム「キャリアコネ」などを運営しております。「リクルーティング事業」は、当社転職コンサルタントが外資系のコンサルティングファームやIT企業を中心として、主にハイクラス人材をターゲットとした転職サービスを提供しております。「シェアリング事業」は、シェアリングエコノミーサービスの開発及び運営、コンサルティングサービスの提供、ライブエンターテイメントサービスの運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は発生費用を基礎に当事者間で協議の上決定しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務 諸表計上 額(注) 3 |
|-------------------------|----------------|----------------|------------|----------------|--------------|-----------|--------------|---------------------------|
| | プラット フォーム事業 | セールスフ ォース事業 | メディア 事業 | リクルーテ ィング事業 | シェアリン グ事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 顧客との契約から生 じる収益 | 562,024 | 388,010 | 304,189 | 385,095 | 109,350 | 1,748,671 | - | 1,748,671 |
| その他の収益 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 外部顧客への売上高 | 562,024 | 388,010 | 304,189 | 385,095 | 109,350 | 1,748,671 | - | 1,748,671 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 11,034 | - | 34,159 | 4,375 | 41,108 | 90,677 | △90,677 | - |
| 計 | 573,059 | 388,010 | 338,349 | 389,470 | 150,458 | 1,839,348 | △90,677 | 1,748,671 |
| セグメント利益又はセ グメント損失(△) | 121,002 | 27,810 | 57,856 | 116,805 | △338,404 | △14,929 | △443,579 | △458,509 |

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△443,579千円のうち△352,901千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの資産、負債その他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務 諸表計上 額(注) 3 |
|-------------------------|----------------|----------------|------------|----------------|--------------|-----------|--------------|---------------------------|
| | プラット フォーム事業 | セールスフ ォース事業 | メディア 事業 | リクルーテ ィング事業 | シェアリング 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 顧客との契約から生 じる収益 | 1,036,738 | 423,847 | 402,981 | 314,938 | 277,689 | 2,456,194 | - | 2,456,194 |
| その他の収益 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 外部顧客への売上高 | 1,036,738 | 423,847 | 402,981 | 314,938 | 277,689 | 2,456,194 | - | 2,456,194 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 3,263 | - | 19,095 | - | 44,919 | 67,278 | △67,278 | - |
| 計 | 1,040,001 | 423,847 | 422,076 | 314,938 | 322,608 | 2,523,472 | △67,278 | 2,456,194 |
| セグメント利益又はセ グメント損失(△) | 195,640 | 29,038 | 133,011 | 2,447 | △267,834 | 92,303 | △472,800 | △380,497 |

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△472,800千円のうち△405,522千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 報告セグメントごとの資産、負債その他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|---------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 30.65円 | 28.59円 |
| 1株当たり当期純損失(△) | △6.01円 | △5.47円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 1,327,175 | 1,481,244 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(千円) | 211,459 | 440,029 |
| (うち新株予約権(千円)) | (1) | (568) |
| (うち非支配株主持分(千円)) | (211,458) | (439,460) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 1,115,715 | 1,041,215 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株) | 36,398,940 | 36,412,390 |

3. 1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純損失 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円) | △218,940 | △199,141 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円) | △218,940 | △199,141 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 36,398,880 | 36,399,658 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 新株予約権5種類(新株予約権の数2,657個) | 新株予約権4種類(新株予約権の数569,895個) |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。